

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 14 日

事業所名 障害児通所支援 第2ちゃーむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75	25	テーブルや空気清浄機等の配置については安全に配置している。	ブレイルーム・訓練室・スヌーズレン室等適切である。
	2	職員の配置数は適切である	75	25		人員配置基準を満たしているが、更なる支援の質と内容の向上のため職員確保に努めている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	75	25	構造化や視覚支援を取り入れている。	バリアフリー化はされているが、一部配慮が必要と思われる個所についてはその都度対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100	0	空気清浄機の設置、空気の入替え、清掃、消毒等感染症対策を整えている。	日差しも十分入り、清潔で心地良い空間となっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100	0		ミーティングにて振り返りを行い、職員間で情報共有しながら課題等について検討している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100	0		保護者向け評価表の結果を踏まえ、業務改善に向け職員間で話し合いをしながら改善・検討している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100	0	事業所に掲示し、ホームページでも公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	100		現在は行っていないが、前向きに検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100	0	随時、勉強会やケースカンファレンス、伝達研修を実施している。	質の向上に繋がる研修に参加していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100	0	アンケートやアセスメントを実施し、保護者の意向と発達課題に沿って職員で話し合いを行いながら計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100	0		標準化されたアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100	0		児童発達支援ガイドラインの中から、個々に必要な項目を選択し個別支援計画を作成、支援している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0		児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100	0	事業計画策定会議を行い、活動プログラムを検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100	0	各種療法や行事を取り入れながら、個別・集団活動等が固定化されないよう工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100	0	個々に応じた目標を設定し、視覚支援や個別課題、集団活動も取り入れながら、発達段階に応じた計画を作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	100	0	日程表を作成し、確認を行っている。	
	18	100	0	ミーティングを実施し、情報を共有している。	
	19	100	0	行動の記録に加え、職員の対応や結果を記録し、支援につなげている。	
	20	100	0	毎月目標設定・評価を行い、半月に1回のモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	100	0	担当職員からも聞き取りを行っている。	児童発達支援管理責任者又は管理者が出席している。
	22	100	0		家族を通して情報交換をしたり、関係機関の情報収集に努めている。
	23				
	24				
	25	100	0		職員と幼稚園でお互い見学を実施した。また、サポートブックや就学支援シートで情報を共有している。
	26	100	0		入学前に支援学校での会議に出席し、支援内容について連携し、情報共有を図った。
	27	100	0		担当者会議や研修に参加し、スキルアップを図っている。
	28	50	50		近隣の施設や公園で触れ合う機会はあるが、新たに交流の場を設けるかは検討していきたい。
	29	50	50		要請があった場合は参加していきたい。
	30	100	0	連絡帳や保護者迎え時、場合によっては電話で伝えるようにしており、共通理解に努めている。	
31	75	25	固定化されたペアレントトレーニングは行っていないが、積極的に言葉かけを行い、寄り添った支援を心掛けている。	ペアレントトレーニングを検討していきたい。	
	32	100	0	変更についてはその都度説明し、同意をいただいている。	
	33	100	0		ガイドラインに基づいて支援計画を作成し、説明・同意をいただいている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100	0	日頃から情報交換を行い、相談があった場合は速やかに応じている。	より相談しやすい環境を工夫していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50	50		芋煮会や親子遠足を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できなかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0		権利擁護委員会を設置し、苦情があった場合は速やかに対応できるようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100	0	月の行事予定表をお知らせしたり、ホームページで活動の様子を伝えている。	法人の会報誌を年4回発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100	0		個人情報同意書に記入していただいております、十分注意している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0		定期的なアンケートや連絡帳にて情報共有に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50	50		新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は高齢者施設訪問は行わなかった。また、事業所の行事等への参加については検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100	0	玄関にマニュアル・ハザードマップを設置している。	マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100	0		月1回、いろいろな想定で避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100	0		確認している。服薬については処方箋やお薬手帳の提示を求めている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100	0	ホワイトボードを設置し、確認できるようにしている。	契約時にアレルギーの確認を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100	0		作成し共有している。ヒヤリハットがあった場合は、その都度会議を実施し、対応策を周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100	0	対応資料を設置し、周知している。	外部研修を受けた職員が伝達研修を行い、適切に対応している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100	0		重要事項説明書に記載・説明しているが、現在当該児はいないため計画には記載していない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。